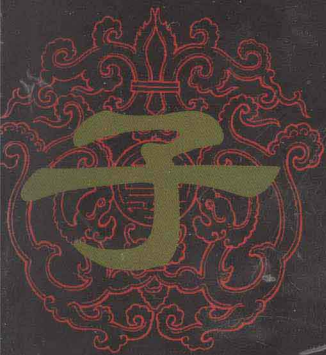




四

库

全

书



精华

中国文史出版社

四库全书

精华

史部

第三卷

主编 郭超

中国文史出版社

目 录

第三卷

宋 书

明恭王皇后传	(1983)	刘义宣传	(1997)
后废帝江皇后传	(1983)	范晔传	(2002)
明帝陈昭华传	(1983)	刘休仁传	(2007)
檀道济传	(1983)	颜延之传	(2010)
王镇恶传	(1985)	宗越传	(2015)
刘义恭传	(1987)	戴颙传	(2016)
羊欣传	(1992)	隐逸传	(2016)
裴松之传	(1993)	慧琳传	(2021)
刘义康传	(1994)	陶潜传	(2024)

南 齐 书

宣孝陈皇后传	(2024)	王僧虔传	(2030)
高昭刘皇后传	(2024)	谢朓传	(2034)
武穆裴皇后传	(2024)	祖冲之传	(2035)
周盘龙传	(2029)	高逸传	(2036)

梁 书

太祖张皇后传	(2045)	肖统传	(2045)
高祖郗皇后传	(2045)	韦睿传	(2047)
太宗王皇后传	(2045)	沈约传	(2049)

萧子显传	(2051)	处士传	(2056)
萧子云传	(2052)	陶弘景传	(2062)
羊侃传	(2053)	孙谦传	(2063)
崔灵恩传	(2055)	何远传	(2063)

陈 书

后主本纪	(2067)	后主沈皇后传	(2073)
高祖章皇后传	(2072)	张贵妃传	(2074)
世祖沈皇后传	(2072)	萧摩诃传	(2074)
高宗柳皇后传	(2073)	褚玠传	(2076)

魏 书

献明皇后贺氏传	(2079)	晁崇传	(2103)
文成文明皇后冯氏传	(2079)	孙僧化传	(2103)
文成元皇后李氏传	(2080)	江式传	(2103)
孝文幽皇后冯氏传	(2080)	周澹传	(2105)
宣武灵皇后胡氏传	(2081)	李修传	(2106)
高允传	(2083)	王显传	(2106)
阚骃传	(2091)	崔彧传	(2107)
郑道昭传	(2091)	列女传	(2107)
奚康生传	(2093)	仇洛齐传	(2109)
杨大眼传	(2094)	赵黑传	(2109)
宋翻传	(2096)	张宗之传	(2110)
高肇传	(2096)	抱嶷传	(2111)
李业兴传	(2097)	王遇传	(2112)
于洛侯传	(2099)	刘腾传	(2112)
李洪之传	(2099)	贾粲传	(2113)
张赦提传	(2100)	成轨传	(2113)
崔暹传	(2101)	王温传	(2114)
逸士传	(2101)	释老志	(2114)

北齐书

神武娄后传	(2129)	斛律金传	(2132)
文宣李后传	(2129)	高昂传	(2134)
武成胡后传	(2130)	徐之才传	(2135)
后主穆后传	(2130)	魏收传	(2136)
高长恭传	(2130)	袁聿修传	(2141)
高延宗传	(2131)	苏琼传	(2142)

周书

武帝阿史那皇后传	(2147)	庾信传	(2153)
宣帝杨皇后传	(2147)	宗懔传	(2157)
宇文宪传	(2147)	姚僧垣传	(2158)
达奚武传	(2151)	赵文深传	(2160)
赫连达传	(2153)	褚该传	(2160)

隋书

高祖本纪	(2163)	李密传	(2214)
炀帝本纪	(2181)	匡狄士文传	(2217)
文献独孤皇后传	(2193)	田式传	(2218)
宣华夫人陈氏传	(2194)	燕荣传	(2218)
炀帝萧皇后传	(2194)	赵仲卿传	(2219)
高颎传	(2195)	崔弘度传	(2220)
杨勇传	(2197)	元弘嗣传	(2221)
杨素传	(2201)	王文同传	(2221)
韩擒虎传	(2206)	刘焯传	(2221)
贺若弼传	(2207)	刘炫传	(2222)
刘行本传	(2208)	李士谦传	(2224)
赵绰传	(2209)	张胄玄传	(2225)
裴矩传	(2209)	庾季才传	(2226)
何稠传	(2212)	许智藏传	(2228)
宇文恺传	(2213)	万宝常传	(2228)

列女传	(2229)	字文化及传	(2233)
-----------	--------	-------------	--------

南 史

文元袁皇后传	(2239)	沈怀文传	(2243)
郁林王何妃传	(2239)	萧宏传	(2244)
元帝徐妃传	(2240)	陈庆之传	(2246)
谢灵运传	(2240)	祖暕之传	(2247)
徐文伯传	(2242)	邓郁、马枢传	(2248)
徐嗣伯传	(2242)	侯景传	(2248)

北 史

西魏文帝文皇后乙弗氏传	(2261)	羊祉传	(2268)
文帝悼皇后郁久闾氏传	(2261)	李彪传	(2269)
蠕蠕公主郁久闾氏传	(2261)	傅永传	(2274)
彭城太妃尔朱氏传	(2262)	崔廓、徐则、张文诩传	(2275)
冯翊太妃郑氏传	(2262)	信都芳传	(2276)
后主冯淑妃传	(2262)	宋景业传	(2277)
元暉传	(2263)	张子信传	(2277)
元雍传	(2264)	徐謩传	(2278)
古弼传	(2266)	马嗣明传	(2278)
酈道元传	(2267)	齐诸宦者传	(2279)
高遵传	(2267)	李延寿传	(2279)

旧 唐 书

唐高祖纪	(2283)	王珪传	(2316)
太宗本纪	(2289)	魏征传	(2318)
窦建德传	(2303)	李百药传	(2324)
杜伏威传	(2306)	姚思廉传	(2327)
李建成传	(2307)	颜师古传	(2328)
房玄龄传	(2309)	令狐德棻传	(2329)
李勣传	(2313)	傅仁均传	(2330)
秦叔宝传	(2315)	傅奕传	(2332)

姚崇传	(2333)	侯思止传	(2389)
张嘉贞传	(2336)	万国俊传	(2389)
刘知几传	(2337)	来子珣传	(2390)
吴兢传	(2340)	王弘义传	(2390)
韦述传	(2340)	郭霸传	(2390)
李林甫传	(2341)	吉頊传	(2390)
杨国忠传	(2344)	姚绍之传	(2391)
李光弼传	(2346)	王旭传	(2392)
高适传	(2349)	吉温传	(2392)
元载传	(2351)	罗希奭传	(2394)
萧复传	(2353)	毛若虚传	(2394)
韩滉传	(2354)	敬羽传	(2394)
李勉传	(2357)	安金藏传	(2395)
李皋传	(2358)	苏冕传	(2395)
卢杞传	(2360)	杨炯传	(2396)
王伾传	(2362)	陈子昂传	(2397)
贾耽传	(2362)	贺知章传	(2400)
陆贽传	(2364)	孟浩然传	(2401)
李吉甫传	(2375)	王维传	(2401)
王鐔传	(2377)	杜甫传	(2402)
马摠传	(2378)	李商隐传	(2403)
韩愈传	(2378)	温庭筠传	(2404)
刘禹锡传	(2382)	司空图传	(2404)
柳宗元传	(2383)	崔善为传	(2405)
柳公权传	(2384)	甄权传	(2405)
卢钧传	(2385)	甄立言传	(2406)
杨思勳传	(2386)	许胤宗传	(2406)
窦文场、霍仙鸣传	(2386)	孙思邈传	(2406)
吐突承璀传	(2387)	张文仲传	(2407)
姜师度传	(2387)	孟诜传	(2408)
傅游艺传	(2388)	玄奘传	(2408)
丘神勣传	(2388)	一行传	(2408)
索元礼传	(2388)	神秀传	(2409)

新唐书

则天武皇后、杨贵妃传	(2413)	章敬吴皇后传	(2418)
------------------	--------	--------------	--------

懿安郭太后传	(2418)	杜牧传	(2439)
王贤妃传	(2419)	李德裕传	(2441)
何皇后传	(2419)	王绩传	(2447)
李靖传	(2420)	陆羽传	(2448)
王焘传	(2422)	陆龟蒙传	(2449)
阎立德、阎立本传	(2422)	隐逸传	(2449)
虞世南传	(2422)	欧阳询传	(2451)
薛仁贵传	(2424)	王勃传	(2451)
白居易传	(2425)	李邕传	(2452)
卢怀慎传	(2427)	李白传	(2453)
郭子仪传	(2429)	张旭传	(2454)
元结传	(2433)	郑虔传	(2454)
颜真卿传	(2435)	王远智传	(2455)
杜佑传	(2437)	叶法善传	(2455)

旧五代史

葛从周传	(2459)	刘昫传	(2464)
王彦章传	(2460)	杨凝式传	(2465)
贞简曹太后传	(2461)	冯道传	(2465)
周德威传	(2462)		

新五代史

太祖母文惠皇后王氏传	(2471)	张承业传	(2475)
庄宗神闵敬皇后刘氏传	(2471)	张居翰传	(2476)
高祖皇后李氏传	(2472)	刘词传	(2477)
宣懿皇后符氏传	(2473)	马重绩传	(2477)
景延广传	(2473)	李煜传	(2478)
史弘肇传	(2474)		

宋 史

宋太祖纪	(2481)	章献明肃刘皇后传	(2502)
钦宗本纪	(2496)	李宸妃传	(2504)

慈圣光献曹皇后传	(2504)	岳飞传	(2597)
英宗宣仁圣烈高皇后传	(2505)	吴玠传	(2605)
韦贤妃传	(2506)	王彦传	(2607)
光宗慈懿李皇后传	(2508)	胡铨传	(2608)
理宗谢皇后传	(2508)	张翥传	(2612)
王溥传	(2509)	范成大传	(2613)
高怀德传	(2510)	李焘传	(2614)
赵普传	(2511)	袁枢传	(2616)
曹彬传	(2515)	黄裳传	(2617)
薛居正传	(2517)	陆游传	(2620)
杨业传	(2518)	辛弃疾传	(2621)
寇准传	(2519)	文天祥传	(2623)
王钦若传	(2522)	吴遵路传	(2626)
夏竦传	(2524)	程师孟传	(2626)
丁谓传	(2527)	周敦颐传	(2627)
宋祁传	(2529)	程颢传	(2628)
狄青传	(2531)	程颐传	(2629)
王禹偁传	(2532)	朱熹传	(2632)
乐史传	(2535)	张栻传	(2639)
晏殊传	(2536)	黄榦传	(2641)
范仲淹传	(2537)	程大昌传	(2643)
包拯传	(2541)	杨万里传	(2644)
赵抃传	(2542)	陆九龄传	(2647)
唐介传	(2543)	陆九渊传	(2648)
欧阳修传	(2545)	叶适传	(2649)
刘攽传	(2548)	胡安国传	(2651)
曾巩传	(2548)	郑樵传	(2654)
蔡襄传	(2549)	真德秀传	(2655)
王安石传	(2551)	魏了翁传	(2658)
司马光传	(2555)	徐梦莘传	(2660)
范祖禹传	(2560)	李心传	(2661)
苏轼传	(2562)	柳开传	(2661)
苏颂传	(2570)	李建中传	(2663)
王存传	(2573)	苏舜钦传	(2664)
李纲传	(2574)	梅尧臣传	(2667)
宗泽传	(2587)	文同传	(2668)
韩世忠传	(2591)	贺铸传	(2668)
韩彦直传	(2596)	黄庭坚传	(2668)

秦观传	(2669)	卫绍钦传	(2690)
刘恕传	(2669)	石知颙传	(2690)
米芾传	(2670)	韩守英传	(2690)
李公麟传	(2671)	张惟吉传	(2691)
林逋传	(2671)	李宪传	(2691)
郭雍传	(2671)	宋用臣传	(2692)
列女传	(2672)	王中正传	(2693)
苗训、苗守信传	(2677)	雷允恭传	(2693)
韩显符传	(2677)	阎文应传	(2694)
史序传	(2678)	方腊传	(2694)
刘翰传	(2678)	梁师成传	(2695)
王怀隐传	(2679)	邵成章传	(2696)
赵自化传	(2679)	蓝珪、康履传	(2696)
沙门洪蕴传	(2680)	张去为传	(2697)
许希传	(2680)	陈源传	(2697)
庞安时传	(2680)	王德谦传	(2698)
钱乙传	(2681)	关礼传	(2698)
林灵素传	(2682)	董宋臣传	(2698)
皇甫坦传	(2682)	王黼传	(2699)
王克明传	(2682)	朱勔传	(2700)
竇神宝传	(2683)	王继先传	(2701)
王继恩传	(2684)	蔡京传	(2702)
刘承规传	(2685)	秦桧传	(2704)
秦翰传	(2686)	万俟卨传	(2712)
周怀政传	(2687)	贾似道传	(2713)
张继能传	(2688)		

辽 史

天祚皇帝本纪	(2719)	大公鼎传	(2734)
太祖淳钦皇后述律氏传	(2719)	马人望传	(2735)
景宗睿智皇后萧氏传	(2731)	列女传	(2735)
圣宗仁德皇后萧氏传	(2732)	直鲁古传	(2737)
韩延徽传	(2732)	耶律敌鲁传	(2737)
耶律休哥传	(2733)	耶律乙辛传	(2737)
萧挾凛传	(2734)	张孝杰传	(2738)

金 史

熙宗悼平皇后传	(2741)	徒单恭传	(2759)
世宗昭德皇后传	(2741)	王庭筠传	(2759)
宣宗明惠皇后传	(2742)	麻九畴传	(2760)
完颜宗翰传	(2743)	元好问传	(2760)
完颜宗望传	(2745)	党怀英传	(2761)
宗干传	(2750)	王政传	(2761)
完颜宗弼传	(2751)	刘焕传	(2762)
韩企先传	(2753)	萧裕传	(2762)
张中彦传	(2753)	列女传	(2764)
耶律履传	(2754)	刘完素传	(2766)
杨云翼传	(2755)	张从正传	(2766)
赵秉文传	(2757)	李庆嗣、纪天锡传	(2767)
雷渊传	(2758)		

元 史

元太祖纪	(2771)	赵孟頫传	(2803)
世祖后察必传	(2779)	邓文原传	(2805)
成宗后卜鲁罕传	(2780)	齐履谦传	(2806)
顺帝后完者忽都传	(2780)	张养浩传	(2807)
木华黎传	(2781)	杨朵儿只传	(2808)
速不台传	(2783)	揭傒斯传	(2810)
巖巖	(2785)	欧阳玄传	(2811)
耶律楚材传	(2786)	李好文传	(2812)
刘秉忠传	(2790)	贾鲁传	(2814)
张文谦传	(2793)	瞻思传	(2814)
赵璧传	(2794)	谭澄传	(2816)
李谦传	(2795)	卜天璋传	(2816)
杨恭懿传	(2795)	杨景行传	(2817)
王恂传	(2796)	观音奴传	(2818)
郭守敬传	(2797)	杜瑛传	(2818)
刘因传	(2800)	张特立传	(2819)
吴澄传	(2802)	李杲传	(2819)

阿尼哥、刘元传·····	(2820)	朴不花传·····	(2822)
阿老瓦丁传·····	(2821)	阿合马传·····	(2823)
亦思马因传·····	(2821)	桑哥传·····	(2826)
李邦宁传·····	(2822)	铁木迭儿传·····	(2828)

明 史

明太祖本纪·····	(2833)	杨士奇传·····	(2891)
庄烈帝本纪·····	(2850)	刘观传·····	(2894)
太祖孝慈高皇后传·····	(2859)	杨继宗传·····	(2895)
成祖仁孝徐皇后传·····	(2860)	周新传·····	(2895)
仁宗诚孝张皇后传·····	(2861)	况钟传·····	(2896)
英宗孝庄钱皇后传·····	(2861)	王文传·····	(2897)
孝肃周太后传·····	(2862)	于谦传·····	(2898)
孝穆纪太后传·····	(2863)	徐有贞传·····	(2901)
孝惠邵太后传·····	(2864)	刘健传·····	(2903)
万贵妃传·····	(2864)	杨廷和传·····	(2906)
孝烈方皇后传·····	(2864)	王廷相传·····	(2909)
孝定李太后传·····	(2865)	王守仁传·····	(2910)
孝靖王太后传·····	(2866)	夏言传·····	(2914)
郑贵妃传·····	(2866)	唐顺之传·····	(2917)
熹宗懿安张皇后传·····	(2867)	杨继盛传·····	(2918)
庄烈帝愍周皇后传·····	(2867)	俞大猷传·····	(2921)
朱橚传·····	(2868)	戚继光传·····	(2924)
朱高煦传·····	(2868)	张居正传·····	(2926)
朱常洵传·····	(2870)	潘季驯传·····	(2930)
朱常瀛传·····	(2871)	海瑞传·····	(2931)
郭子兴、韩林儿传·····	(2872)	吕坤传·····	(2933)
陈友谅、张士诚传·····	(2875)	左光斗传·····	(2936)
常遇春传·····	(2878)	孙元化传·····	(2938)
徐达传·····	(2880)	徐光启传·····	(2938)
李善长传·····	(2883)	熊廷弼传·····	(2939)
刘基传·····	(2885)	袁崇焕传·····	(2945)
宋濂传·····	(2887)	史可法传·····	(2950)
方孝孺传·····	(2888)	陈子龙传·····	(2954)
姚广孝传·····	(2890)	罗钦顺传·····	(2954)
胡俨传·····	(2891)	陈献章传·····	(2955)

湛若水传	(2956)	刘渊然传	(2973)
杨维禎传	(2956)	李时珍传	(2973)
高启传	(2957)	列女传	(2974)
王绂、夏景传	(2957)	郑和传	(2992)
李梦阳传	(2958)	侯显传	(2992)
何景明传	(2959)	金英、兴安传	(2993)
徐禎卿传	(2959)	曹吉祥传	(2994)
祝允明、唐寅传	(2960)	梁芳、钱能传	(2994)
文征明传	(2960)	李广传	(2995)
王慎中传	(2961)	蒋琮传	(2995)
茅坤传	(2962)	张永传	(2996)
谢榛传	(2962)	谷大用、魏彬传	(2997)
李攀龙传	(2963)	冯保传	(2997)
王世贞传	(2963)	陈增、高淮传	(2999)
归有光传	(2964)	陈奉传	(2999)
董其昌传	(2964)	梁永、杨荣传	(3000)
徐渭传	(2965)	陈矩传	(3001)
袁宏道传	(2966)	王体乾、李永贞传	(3002)
钟惺传	(2966)	崔文升传	(3003)
张溥传	(2966)	张彝宪传	(3003)
王祎传	(2967)	高起潜传	(3004)
沈周传	(2968)	韩福传	(3004)
滑寿传	(2968)	纪纲传	(3005)
葛乾孙传	(2969)	门达传	(3005)
倪维德传	(2969)	钱宁传	(3007)
王履传	(2969)	陆炳传	(3008)
张三丰传	(2970)	邵元节传	(3008)
戴思恭传	(2970)	陶仲文传	(3009)
盛寅传	(2971)	陈瑛传	(3010)
凌云传	(2971)	严嵩传	(3011)
周述学传	(2972)	马士英传	(3013)
张正常传	(2972)	李自成、张献忠传	(3017)

明恭王皇后传

明恭王皇后讳贞风，琅邪临沂人也。元嘉二十五年，拜淮阳王妃。又为湘东王妃。生晋陵长公主伯姁，建安长公主伯媛。太宗即位。立为皇后。

上尝宫内大集，而裸妇人观之，以为欢笑。后为扇障面，独无所言。帝怒曰：“外舍家寒乞，今共为笑乐，何独不视？”后曰：“为乐之事，其方自多。岂有姑姊妹集聚，而裸妇人形体，以此为乐？外舍之为欢适，实与此不同。”帝大怒，遣后令起。后兄扬州刺史景文以此事语从舅陈郡谢纬曰：“后在家为伉弱妇人，不知遂能刚正如此。”

废帝即位，尊为皇太后，宫曰弘训。废帝失德，太后每加勸譬，始者犹见顺从，后狂慝转甚，渐不悦。元徽五年五月五日，太后赐帝玉柄毛扇，帝嫌其毛柄不华，因此欲加酖害，已令太医煮药，左右人止之曰：“若行此事，官便应作孝子，岂复得出入狡狴。”帝曰：“汝语大有理。”乃止。

顺帝即位，齐王秉权，宗室刘晃、刘綽、卜伯兴等有异志，太后颇与相关。顺帝禅位，太后与帝逊于东邸，因迁居丹阳宫，拜汝阳王太妃。顺帝殂于丹阳，更立第京邑。建元元年，薨于第，时年四十四。追加号谥，葬以宋后礼。父僧朗，事别见景文传。

（卷四一）

后废帝江皇后传

后废帝江皇后讳珪简，济阳考城人，北中郎长史智渊孙女。泰始五年，太宗访求太

子妃，而雅信小数，名家女多不合。后弱小，门无强荫，以卜筮最吉，故为太子纳之。讽朝士州郡令献物一多者将直百金。始兴太守孙奉伯止献琴书，其外无余物。上大怒，封药赐死，既而原之。太子即帝位，立为皇后。帝既废，降为苍梧王妃。智渊自有传。

（卷四一）

明帝陈昭华传

明帝陈昭华讳法容，丹阳建康人也。太宗晚年，痿疾不能内御，诸弟姬人有怀孕者，辄取以入宫，及生男，皆杀其母，而以与六宫所爱者养之。顺帝，桂阳王休范子也，以昭华为母焉。明帝崩，昭华拜安成王太妃。顺帝即位，进为皇太妃。顺帝禅位，去皇太妃之号。

（卷四一）

檀道济传

檀道济，高平金乡人，左将军韶少弟也。少孤，居丧备礼。奉姊事兄，以和谨致称。

高祖创义，道济从入京城，参高祖建武军事，转征西。讨平鲁山，禽桓振，除辅国参军、南阳太守。以建义勋，封吴兴县五等侯。卢循寇逆，群盗互起，郭寄生等聚作唐，以道济为扬武将军、天门太守讨平之。又从刘道规讨桓谦、荀林等，率厉文武，身先士卒，所向摧破。及徐道覆来逼，道规亲出拒战，道济战功居多。迁安远护军、武陵内史。复为太尉参军，拜中书侍郎，转宁朔将军，参太尉军事。以前后功封作唐县男，食邑四百户。补太尉主簿、谘议参军。豫章公世子为

征虏将军镇京口，道济为司马、临淮太守。又为世子西中郎司马、梁国内史。复为世子征虏将军司马，加冠军将军。

义熙十二年。高祖北伐，以道济为前锋出淮、肥，所至诸城戍望风降服。进克许昌，获伪宁朔将军、颍川太守姚坦，及大将杨业。至成皋，伪兖州刺史韦华降。迺进洛阳，伪平南将军陈留公姚麟归顺。凡拔城破垒，俘四千余人，议者谓应悉戮以为京观。道济曰：“伐罪吊民，正在今日。”皆释而遣之。于是戎夷感悦，相率归之者甚众。进据潼关，与诸军共破姚绍。长安既平，以为征虏将军、琅邪内史。世子当镇江陵，复以道济为西中郎司马、持节、南蛮校尉。又加征虏将军。迁宋国侍中，领世子中庶子，兖州大中正。

高祖受命，转护军，加散骑常侍，领石头戍事。听直入殿省。以佐命功，改封永修县公，食邑二千户。徙为丹阳尹，护军如故。高祖不豫，给班剑二十人。

出监南徐兖之江北淮南诸郡军事、镇北将军、南兖州刺史。景平元年。虏围青州刺史竺夔于东阳城，夔告急。加道济使持节、监征讨诸军事，与王仲德救东阳。未及至，虏烧营，焚攻具遁走。将追之，城内无食，乃开窖取久谷，窖深数丈，出谷作米，已经再宿，虏去已远，不复可追。乃止。还镇广陵。

徐羨之将废庐陵王义真，以告道济，道济意不同，屡陈不可，不见纳。羨之等谋欲废立，讽道济入朝，既至，以谋告之。将废之夜，道济入领军府就谢晦宿。晦其夕竦动不得眠，道济就寝便熟，晦以此服之。太祖未至，道济入守朝堂。上即位，进号征北将军，加散骑常侍，给鼓吹一部。进封武陵郡公，食邑四千户，固辞进封。又增督青州、徐州之淮阳下邳琅邪东莞五郡诸军事。

及讨谢晦，道济率军继到彦之。彦之战败，退保隐圻，会道济至。晦本谓道济与羨之等同诛，忽闻来上，人情凶惧，遂不战自

溃。事平，迁都督江州荆州之江夏、豫州之西阳、新蔡、晋熙四郡诸军事、征南大将军、开府仪同三司、江州刺史，持节、常侍如故。增封千户。

元嘉八年，到彦之伐索虏，已平河南，寻复失之，金墉、虎牢并没，虏逼滑台。加道济都督征讨诸军事。率众北讨。军至东平寿张县，值虏安平公乙旃眷。道济率宁朔将军王仲德、骁骑将军段宏奋击，大破之。转战至高梁亭，虏宁南将军、济州刺史寿昌公悉颊库结前后邀战，道济分遣段宏及台队主沈虔之等奇兵击之，即斩悉颊库结。道济进至济上，连战二十余日，前后数十交，虏众盛，遂陷滑台。道济于历城全军而反。进位司空、持节、常侍、都督、刺史并如故。还镇寻阳。

道济立功前朝，威名甚重，左右腹心，并经百战，诸子又有才气，朝廷疑畏之。太祖寢疾累年，屡经危殆，彭城王义康虑宫车晏驾，道济不可复制。十二年，上疾笃，会索虏为边寇，召道济入朝。既至，上间。十三年春，将遣道济还镇，已下船矣，会上疾动，召入祖道，收付廷尉。诏曰：“檀道济阶缘时幸，荷恩在昔，宠灵优渥，莫与为比。曾不感佩殊遇，思答万分，乃空怀疑贰，履霜日久。元嘉以来，猜阻滋结，不义不昵之心，附下罔上之事，固已暴之民听，彰于遐迩。谢灵运志凶辞丑，不臣显著，纳受邪说，每相容隐。又潜散金货，招诱剽猾，遁逃必至，实繁弥广，日夜伺隙，希冀非望。镇军将军仲德往年入朝，屡陈此迹。朕以其位居台铉，豫班河岳，弥缝容养，庶或能革。而长恶不悛，凶慝遂遘，因朕寢疾，规肆祸心。前南蛮行参军庞延祖具悉奸状，密以启闻。夫君亲无将，刑兹罔赦。况罪衅深重，若斯之甚。便可收付廷尉，肃正刑书。事止元恶，余无所问。”于是收道济及其子给事黄门侍郎植、司徒从事中郎粲、太子舍人隰、征北主簿承伯、秘书郎遵等八人，并于廷尉伏诛。又收司空

参军薛彤，付建康伏法。又遣尚书库部郎顾仲文、建武将军茅亨至寻阳，收道济子夷、邕、演及司空参军高进之诛之。薛彤、进之并道济腹心，有勇力，时以比张飞、关羽。初，道济见收，脱帻投地曰：“乃复坏汝万里之长城！”邕子孺乃被宥，世祖世，为奉朝请。

（卷四三）

王镇恶传

王镇恶，北海剧人也。祖猛，字景略，苻坚僭号关中，猛为将相，有文武才，北土重之。父休，伪河东太守。

镇恶以五月五日生，家人以俗忌，俗令出继疏宗。猛见奇之，曰：“此非常儿，昔孟尝君恶月生而相齐，是儿亦将兴吾门矣。”故名之为镇恶。年十三而苻氏败亡，关中扰乱，流寓崤、澠之间。尝奇食澠池人李方家，方善遇之。谓方曰：“若遭遇英雄主，要取万户侯，当厚相报。”方答曰：“君丞相孙，人才如此，何患不富贵。至时愿见用为本县令足矣。”后随叔父曜归晋，客居荆州。颇读诸子兵书，论军国大事，骑乘非所卡，关弓甚弱，而意略纵横，果决能断。

广因之役，或荐镇恶于高祖，时镇恶为天门临澧令，即遣召之。既至与语，甚异焉。因留宿。明旦谓诸佐曰：“镇恶，王猛之孙，所谓将门有将也。”即以为青州治中从事史，行参中军太尉军事，署前部贼曹。拒卢循于查浦，屡战有功，封博陆县五等正。

高祖谋讨刘毅，镇恶曰：“公若有事西楚，请赐给百舸为前驱。”义熙八年，刘毅有疾，求遣从弟兖州刺史藩为副贰，高祖伪许之。九月，大军西讨，转镇恶参军事，加振武将军。高祖至姑孰，遣镇恶率龙骧将军蒯恩百舸前发，其月二十九日也。戒之曰：“若贼知吾上，

此军至，亦当少日耳。政当岸上作军，未办便下船也。卿至彼，深加筹量，可击，便烧其船舰，且浮舸水侧，以待吾至。尉劳百姓，宣扬诏旨并赦文、及吾与卫军府文武书。罪止一人，其作一无所问。若贼都不知消息，未有备防，可袭便袭。今去，但云刘兖州上。”镇恶受命，便书夜兼行，于鹊洲、寻阳、河口、巴陵守风凡四日，十月二十二日，至豫章口，去江陵城二十里。

自镇恶进路，扬声刘兖州上，毅谓为倂然，不知见袭。镇恶自豫章口舍船步上，蒯恩军在前，镇恶次之。舸留一二人，对舸岩上竖六七旗，下辄安一鼓。语所留人：“计我将至城，便长严，令如后有大军状。”又分队在后，令烧江津船舰。镇恶迳前袭城，语前军：“若有问者，但云刘兖州至。”津戍及百姓皆言刘藩实上，晏然不疑。

未至城五六里，逢毅要将朱显之，与十许骑，步从者数十，欲出江津。问是何人，答云“刘兖州至。”显之驰前问藩在所，答云：“在后。”显之既见军不见藩，而见军人担彭排战具，望见江津船舰已被烧，烟焰张天，而鼓严之声甚盛，知非藩上，便跃马驰去告毅：“外有大军，似从下上，垂已至城，江津船悉被火烧矣。”行令闭诸城门。镇恶亦驰进，军人缘城得入，门犹未及下关，因得开大城东门。大城内，毅凡有八队，带甲千作，已得戒严，蒯恩入东门，便北回南射堂，前攻金城东门。镇恶入东门，便直击金城西门。军分攻金城南门。毅金城内东从旧将，犹有六队千余人，西将及能细直吏快手，复有二千余人。食时就斗，至中晡，西人退散及归降略尽。镇恶入城，便因风放火，烧大城南门及东门。又遣人以诏及赦文并高祖手书凡三函示毅，毅皆烧不视。金城内亦未信高祖自来。有王桓者，家在江陵，昔手斩桓谦，为高祖所赏拔，常在左右。求还四迎家，至是率十余人助镇恶战。下晡间，于金城东门北

三十步凿城作一穴，桓便先众入穴，镇恶自后继之，随者稍多，因短兵接战。镇恶军人与毅东来将士，或有是父兄子弟中表亲亲者，镇恶令且斗且共语，众并知高祖自来，人情离懈。一更许，听事前阵散溃，斩毅勇将赵蔡。毅左右兵犹闭东西阁拒战。镇恶虑暗夜自相伤犯，乃引军出，绕金城，开其南面，以为退路。毅虑南有伏兵，三更中，率左右三百许人开北门突出。初，毅常所乘马在城外不得主，仓卒无马，毅便就子肃民取马，肃民不与。朱显之谓曰：“人取汝父，而惜马不与，汝今自走，欲河之？”夺马以授毅。初出，政值镇恶军，冲之不得去；回冲蒯恩军，军人斗斗争已一日，疲倦，毅得从大城东门出奔牛牧佛寺，自缢死。镇恶身被五箭，射镇恶手所执矛，于手中破折。江陵平后二十日，大军方至。

署中兵，出为安远护军、武陵内史。以讨刘毅功，封汉寿县子，食邑五百户。蛮帅向博抵根据阡头，屡为凶暴，镇恶讨平之。初行，告刺史司马休之，求遣军以为声援，休之遣其将襄领众助镇恶。会高祖西讨休之，镇恶乃告诸将曰：“百姓皆知官军已上，朱襄等复是一贼，丧里受敌，吾事败矣。”乃率军夜下，江水迅急，倏忽行数百里，直据都尉治。既至，乃以竹笼盛石，堙塞水道，襄军下，夹岩击之，斩襄首，杀千余人。镇恶性贪，既破襄，因停军抄掠诸蛮，不时反。及至江陵，休之已乎，高祖怒，不时见之。镇恶笑曰：“但令我一见会，无忧矣。”高祖寻登城唤镇恶，镇恶为人强辩，有口机，随宜酬应，高祖乃释，休之及鲁宗之奔襄阳，镇恶统蒯恩诸军水路追之。休之等奔羌，镇恶追蹙，尽境而远。除游击将军。

十二年，高祖将北伐，转镇恶为谘议参军，行龙骧将军，领前锋。将发，前将军刘穆之见镇恶于积弩堂，谓之曰：“公愍此遗黎，志荡逋逆。昔晋文王委伐蜀于邓艾，今亦委

卿以关中，相勉建大功，勿孤此授。”镇恶曰：“不克咸阳，誓不复济江而还也！”

镇恶入贼境，战无不捷，邵陵、许昌，望风奔散，破虎牢及柏谷坞，斩贼师赵玄。军次洛阳，伪陈留公姚洸归顺。进次浞池，造故人李方家，升堂见母，厚加酬赉，即版授方为浞池令。遣司马毛德祖攻伪弘农太守尹雅于蠡城，生擒之。仍行经农太守。方轨长驱，径据潼头。伪大将军姚绍率大众拒崧，深沟高垒以自固。镇恶悬军远入，转输不充，与贼相持久，将士乏食，用亲到弘农督上民租，百姓竞送义粟，军食复振。初，高祖与镇恶等其，若克洛阳，须大军至，未可轻前。既而镇恶等迳向潼关，为绍拒不得进，而军又乏食，驰告高祖，求遣粮援。时高祖沿河，索暍屯据河岩，军不得前，高祖呼所遣人开舫北户，指河上虜示之曰：“我语令勿进，而轻佻深入。岸上如此，何由得遣军？”镇恶既得义租，绍又病死，伪抚军姚讚代绍守险，众力犹盛。高祖至湖城，讚引退。

大军次潼关，谋进取之计，镇恶请率水军自河入渭。伪镇北将军姚强屯兵泾上，镇恶遣毛德祖击破之，直至渭桥。镇恶所乘皆蒙冲小舰，行船者悉在舰内，羌见舰汭渭而进，舰外不见有乘行船人，北土素无舟楫，莫不惊惋，咸谓为神。镇恶既至，令将士食毕，便弃船登岩。渭水流急，倏忽间，诸舰悉逐流去。时姚泓屯军在长军城下，犹数万人。镇恶抚尉士卒曰：“卿诸人并家在江南，此是长安城北门外，去家万里，而舫乘衣粮，并已逐流去，岂复有求生之计邪！唯宜死战，可以立大功，不然，则无遗类矣。”乃身先士卒，众并知无复退路，莫不胜踊争先，泓众一时奔溃，即陷长安城。泓挺身逃走，明日，率妻子归降。城内夷、晋六万余户，镇恶宣扬国恩，抚慰初附，号令严肃，百姓安堵。

高祖将至，镇恶于灊上奉迎，高迎劳之曰：“成吾霸业者，真卿也。”镇恶再拜谢曰：